

三学期始業式 校長講話

皆さん、明けましておめでとうございます。

さて、この年末年始は天気もよく、元旦の初日の出はとてもきれいでしたね。皆さん冬休みはお家の人たちと穏やかに楽しく過ごせましたか？ 冬休み中に大きな事故や事件がなく、こうして新しい年、3学期を迎えることができて安心しました。

さて、今年の干支は蛇（へび）です。干支では「巳」という漢字を使います。正確には「乙巳（きのとみ）」です。

へび年生まれの人を「年男」「年女」と言います。手良小学校の年男・年女は5年生に12人、6年生に3人、先生方はいません。巳年生まれの方は、努力家で、物事を成し遂げるための粘り強さがあると言われます。

乙巳（きのとみ）の年の「乙（きのと）」は、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また巳（み・へび）は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため乙巳（きのとみ）の年は、これまでの努力や準備が実を結びはじめ、勢いを増していく「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると言われています。「成長」や「変革」がキーワードになりそうです。

これまで努力してきたことが結果となり、それをもとに、やわらかな発想で新たなことが始まる年と言えそうです。

今、2、5年生の皆さんが、新年の決意や三学期の目標を発表してくれました。

皆さんも、新しい年を迎えて、「今年はこれがんばろう。」「このことを毎日続けよう。」などと一年の目標を立てた人も多いと思います。

1・2学期に頑張ってきた学習や活動で感じた手ごたえを、この3学期でしっかりとまとめをし、1年間の成長を確かなものにしてほしいと思います。また、45日間と短い学期ですが、学級として次の目標に向かって思い切り前に進んでほしいと思います。

6年生は、4月からは中学生となり、新たな生活が始まります。これまでの自分を土台にして、新たななりたい自分を目指していくチャンスです。小学校生活のまとめをしながら、中学生になった自分を思い描いていきましょう。

5年生は、6年生から児童会を引き継ぎ、最上級生になる覚悟をもつ3学期です。どんな児童会にしたいのかをはっきりさせ、そのためにどうしたいのか、これまでにこだわらない、やわらかな発想で、活動を計画してください。

一人一人がこれまでの成果をもとに、やわらかな発想で新しい目標を目指していける一年にしていきましょう。

それではみなさん、今年一年が良い年になるように、そして充実した三学期になるように頑張っていきましょう。